

Speak Up Policy (内部告発)

文書番号: HR102 版数: 02 発効日: 06/07/2020

目的:

違法行為または非倫理的行為の疑いまたは可能性について告発を行うメカニズムを説明するため。

追加規定:

Public Interest Disclosure Act 1998 (英国 1998 年公益開示法)

概要/範囲:

本ポリシーは、従業員、役員、コンサルタント、契約社員、日雇い労働者、派遣、インターン、ボランティア、学生、サプライヤ、レニショー施設への訪問者、顧客、レニショーの代理でサービスを提供する第三者を含むレニショーのビジネスパートナーすべてをカバーします。

責任組織:

Group Legal。

ポリシー

本ポリシーの基本理念:

- 違法行為または非倫理的行為の疑いまたは可能性に関する告発を奨励すること。
- 報復を恐れることなく、真の懸念について告発できることを保証すること。

ポリシーの詳細については、以降の 3~5 ページに掲載しています。

本ポリシーは英語で作成された原本の翻訳版です。本翻訳版は原本の改定や原本の修正ないしは変更を意図しているわけではありません。

本翻訳版のいずれかのセクションに関して疑問があれば、原本 (<https://www.renishaw.com/media/pdf/en/e37446968b7c4fdcabf77d8315e7b933.pdf>) を参照するか、ポリシー作成者までお問い合わせください。

1 Speak Up Policy の目的

本ポリシーの基本理念:

- 違法行為または非倫理的行為の疑いまたは可能性に関する告発を奨励すること。
- 報復を恐れることなく、真の懸念について告発できることを保証すること。

2 Speak Up とは

Speak Up とはレニショーの世界的な内部告発サービスです。

3 Speak Up を利用できる人

本ポリシーは、従業員、役員、コンサルタント、契約社員、日雇い労働者、派遣、インターン、ボランティア、学生、サプライヤ、レニショー施設への訪問者、顧客、レニショーの代理でサービスを提供する第三者を含むレニショーのビジネスパートナーすべてをカバーします。

4 Speak Up で内部告発すべきとき

Speak Up での告発は、レニショーの事業に関連した、[レニショーグループ事業規定](#)に抵触する可能性があると思われる行為、または違法もしくは非倫理的と思われる行為を見たり、耳にしたりしたときに行ってください。違法または犯罪であることが疑われるあらゆる行為を告発する必要があります。この例としては、次のようなものが考えられます。

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">• 贈収賄• 詐欺• データやプライバシーの保護違反• 児童労働法の違反• 利益相反• いじめやハラスメント | <ul style="list-style-type: none">• 法的義務の不遵守• 環境破壊• システム、プロセス、ポリシーの乱用• 会計またはその他の財務的不正• 安全衛生関連の違反• 上記の事項の意図的な隠ぺい |
|---|--|

5 Speak Up での内部告発の方法

次に示した手段を利用して、お持ちの懸念について告発することができます。その際、その懸念が事実だと思われる理由も含めるようにしてください。

手段 1 - メールでの秘匿告発

告発内容は speakup@renishaw.com に送信するか、Jacqueline Conway (jacqueline.conway@renishaw.com) に直接送信することができます。Jacqueline Conway に電話 (+44 (0)1453 522455) で告発内容を伝えることも可能です。

Jacqueline Conway や Patrick Tampkins (speakup@renishaw.com の管理者) が告発の対象である場合は、独立した告発サービスを利用して告発してください。告発内容は、常に極秘として取り扱われます。

手段 2 - 独立した告発サービスへの秘匿告発

電話 (通話料無料) またはオンラインフォーム (1 日 24 時間、365 日無休で受け付け) にて告発を行うことができます (各国の法律で認められている場合は任意で匿名にできます)。なお、本サービスは、倫理とコンプライアンスに関する告発サービスの世界をリードするプロバイダーである NAVEX Global 社提供のサービスです。
<https://renishaw.ethicspoint.com> からサービスにアクセスできます。



告発内容はログに記録され、Jacqueline Conway および Patrick Tampkins に送られて、詳細な調査が行われます。告発が Jacqueline や Patrick に関するものである場合は、Rob Macdonald (レニショーグループ財務統括責任者) に転送されます。告発内容は、常に極秘として取り扱われます。

オンラインで告発を行うと、「レポートキー」と呼ばれる固有のコードが割り当てられます。このレポートキーとパスワードを書き留めて、安全に保管してください (このレポートキーは再確認することができません)。

レポートキーを紛失した場合は、告発の進捗情報を追跡したり、詳細情報の提供が必要な場合にもそれを行うことができなくなるため、告発内容を徹底的に調査することが難しくなる場合があります。72 時間後にレポートキーとパスワードを使用して、告発に対する返答や質問がないかを確認してください。

6 Speak Up での告発後の流れ

1. 各告発に対して調査担当者が割り当てられます。場合によっては、必要な調査経験または対象分野に関する専門知識を持つ社員を含め、複数の調査担当者を割り当てることもあります。
2. 告発者に調査担当者が割り当てられたことが連絡されます。
3. 調査を実施します。いずれのケースでも、告発者に調査の進捗状況と予想される所要日数を連絡するよう心がけています。告発者は、調査に関するあらゆる情報を極秘情報として取り扱う必要があります。
4. 告発者に調査結果を連絡します。告発者には、告発内容が立証されたか、部分的に立証されたか、もしくは立証されなかったかについてのみを通知します。結果に関する詳細を連絡しない場合もあります。

7 守秘義務および報復の禁止

7.1 守秘義務

告発者が独立した電話およびオンラインサービスを利用して告発を行う際に、各国の法律で認められている場合は匿名とするかどうかを選択することができます。どちらのオプションを選択した場合でも、法律により開示が義務付けられている場合を除いて、告発者の情報は極秘として取り扱われます。

匿名告発を行った場合は、告発から告発者の名前が特定されることはありません。

7.2 報復の禁止

レニショーでは、善意で真の懸念について告発したケースにおける報復禁止ポリシーを採用しています。このような懸念を告発した告発者に対しては、たとえ不正行為、違法行為、コンプライアンス違反が確認されなかった場合でも、いかなる処置も課されることはありません。

レニショーが事業活動を行う多くの国においては、Speak Up のようなプロセスを通じて深刻な特定の懸念について内部告発を行った告発者が国の法律で保護される場合もあります。

7.3 善意で告発を行うことに対する期待

虚偽や悪意で告発を行ったり、個人的な利益のために告発を行った場合は、懲戒処分や法的措置が取られる場合があります。

8 アドバイスとサポート

レニショーの従業員アシスタンスプログラムの世界的ヘルプラインは、年中無休の 24 時間体制で利用できます。詳細については、こちら <https://renishawplc.sharepoint.com/sites/HR/SitePages/Wellbeing.aspx> (社内使用のみ)、または www.icaslifestyle.com をご覧ください。

9 直属上司の責任

部下をもつ上司は、本ポリシーを把握し、部下が持つ懸念の Speak Up での告発をサポートする責任を持ちます。また、直属上司には、従業員の申し立てを従業員に代わって行ったり、アドバイスをすることは期待されていませんが、部下が内部告発関連の懸念を持つ場合は、本ポリシーの第 5 項に示された Speak Up チャンネルを使用するよう伝える必要があります。上司は部下が本ポリシーを認識するようにする必要があります。

10 結果のレポート

下された処置に関する詳細を含む匿名告発に関する開示は、レニショーの監査委員会により必要に応じて行われます。

11 ポリシーの再評価

本ポリシーは年に一度以上の頻度で再評価を行います。